

平成27年第7回教育委員会議事録

開会日時 平成27年7月23日（木） 午後3時
閉会日時 平成27年7月23日（木） 午後4時12分

場 所 岡崎市役所東庁舎2階大会議室

出席委員 福應 謙一 櫻井 敬子 土屋 武志 高橋 淳

欠席委員 小出 義信

説明のため出席した職員

横山教育部長 安藤教育監
鈴木教育部次長兼総務課長 鈴木教育部次長兼施設課長
加藤学校指導課長 小野社会教育課長 春日井給食管理室長
爲井市民スポーツ課長

議事録指定職員

神尾総務課主幹
渋谷総務課主任主査

議案

- 1 岡崎市学校給食センター管理規則の一部改正について
- 2 教科用図書採択地区について
- 3 教科用図書の採択について
- 4 岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について

（議題等及び議事の要旨）

福應委員長職務代理

議事に入る前に、日程第2、第11号議案「教科用図書採択地区について」及び日程第3、第12号議案「教科用図書の採択について」は、委員の率直な意見の交換又は意思決定の中立性が不当に損なわれる恐れがあるため、秘密会として審議することを発議し賛成委員の挙手を求める。

挙手（全員）

福應委員長職務代理

秘密会として審議することを決定

■日程第1 第10号議案

岡崎市学校給食センター管理規則の一部改正について

給食管理室長

議案書等により説明

福應委員長職務代理

質疑を許可

（質疑なし）

福應委員長職務代理

第10号議案「岡崎市学校給食センター管理規則の一部改正について」

て」の採決（挙手を求める）

挙手（全員）

福應委員長職務代理

原案のとおり可決することを宣言

福應委員長職務代理

第11号議案及び第12号議案を秘密会として審議することを宣言

■日程第2 第11号議案

教科用図書採択地区について

（秘密会）

福應委員長職務代理

原案のとおり可決することを宣言

■日程第3 第12号議案

教科用図書の採択について

福應委員長職務代理

第12号議案については、土屋委員が地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項の規定に該当し、この審議に参加することができないため退室を求める。

（土屋委員退室）

（※教科用図書の発行者名は、別添の略称表を参照してください。）

学校指導課長

議案書等により説明

福應委員長職務代理

種目名ごとに協議を行う。

福應委員長職務代理

国語について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、光村図書である。このことについて委員の意見を求める。

委員

光村図書は、巻頭で学習の進め方を具体的に分かりやすく説明されており、学年の初めに基本的な学び方の指導を徹底することができる。教育出版も、最初の単元の「言葉と出会う」で小中との連結に配慮した単元を工夫しているが、指導のページの説明が少ないため、教師が資料を新たに用意したり、追加の説明をする必要があると考えられる。学校図書においては、生徒が最初に出会う単元が読書教材となっており、国語の学習に対する意欲を高める導入部としては、物足りなさを感じる。

委員

光村図書は、巻末の資料の内容が豊富である。東京書籍も、「話し方」の基本技能を生徒が興味をもって学べるように、生徒にとって身近な題材の教材文が用意されているが、漢字や文法の単元では、説明に工夫が少なく、教師が指導するときには、他の資料を用意する必要があると感じる。古典教材の説明や資料が少ない教育出版においては、教科書だけで生徒の興味を高めることができないのではないかと。

委員

どの教科書も思考力、判断力、表現力の育成に力を入れていることが感じられる。東京書籍は、単元の手引きに「言葉の力」のコーナーを設け、光村図書は、単元に「学習の窓」のコーナーを設けることにより、生徒に身につけさせたい知識・技能を明確にし

ている。光村図書は、知識・技能の学習用語を巻末にまとめており、指導に役立たせることができることと、教材文が評価の定着したものと新しいものとがバランスよく載せられていることから教師が授業で安心して使うことができると考える。学校図書は、文字がとても小さく、生徒の自ら読もうとする気持ちが高まらないと感じられる。単元の終わりの「学びの窓」も青黒の2色刷りであるため、魅力に欠ける面がある。教育出版、三省堂は、図表が多く取り入れられていることから見やすいが、その分情報量が少なく、物足りなさを感じられることと、教師の追加説明が必要となるのではないかとと思われる。

福應委員長職務代理

国語については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した光村図書を採択することに賛成する委員の挙手を求める。

挙手（全員）

福應委員長職務代理

国語については、光村図書を採択することを宣言

福應委員長職務代理

書写について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、東京書籍である。このことについて委員の意見を求める。

委員

毛硬一体の点では、東京書籍、光村図書とも硬筆のページが多く、毛筆と硬筆の関連性がよく分かり、硬筆練習も充実している。光村図書は、毛筆を扱うページが他と比較し若干少ないように感じる。東京書籍は、毛筆と硬筆がバランスよく配置されており、さらに硬筆練習を行う上で、教科書自体がワークシートの体をなしており、生徒が主体的に学習を進めやすいのではないかと考える。東京書籍と教育出版では、教科書の冒頭で、「何のために学ぶのか」が提案されている。書写授業の意図が明確であることは、生徒の主体的な学びを促す上で効果的であると考え。特に東京書籍は、毛筆の学習後に硬筆を学ぶ毛硬一体の学習体系が各単元で確立され、「書写」での学びが、普段の生活に生かすためのものであるということを表している点においても東京書籍がよいのではないかと。

委員

委員

多くの教科書で「書写」を生活に生かすための工夫がされている。三省堂は、身に付けた基礎的な技能を他の教科や日常生活に生かせる編集がされているが、1ページ当たりの情報が多すぎるため、書面が煩雑に感じられる。見出しや目標の文字が小さいため、何を学ぶ單元なのかがわかりにくく感じる。東京書籍は、現代のニーズに合わせ、生活に生かすための横書きの学習が載せられている。学習したことが何に生かされていくのか捉えやすく、生徒が主体的に学習を進める上でも効果的であると考え。教育出版は、毛筆の行書の学習において、字の由来が丁寧に掲載され、行書の筆遣いにつながる適切な資料があるが、1時間当たりの学習内容が多く、1時間での学習に無理が生じることが心配される。

東京書籍は、毛筆の学習にある、字の配列や字形などの基本を丁寧扱っていること、1時間の授業として紙面に掲載する学習内容が適切、明瞭であり、生徒にとって分かりやすい点からも東京書籍がよいのではないかと考える。

福應委員長職務代理

書写については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した東京書籍を採択することに賛成する委員の挙手を求める。

挙手（全員）

福應委員長職務代理

書写については、東京書籍を採択することを宣言

福應委員長職務代理

社会科地理について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、東京書籍である。このことについて委員の意見を求める。

委員

東京書籍は、表紙裏の見開きページで世界の国の特徴がビジュアル的に提示されている。問題設定もしやすく、地理の学習に興味関心を高め、オリエンテーションを進めやすくする工夫がされている。P8の「地球儀と世界地図を比べてみよう」では、地球儀から地図を作る行程がわかりやすく示され、P9の地図の特徴がつかみやすい構成は、生徒の学びをよく見通した寄り添った工夫がされている点でよいと考える。

委員

教育出版では、P6からP10の「地理にアプローチ」に見られるように地図の読み取り、グラフやデータの取り扱いが丁寧であり、このことをしっかりおさえることにより今後の学習が進めやすくなると考えられる。巻頭P3からP4の記述は、地理の学習の興味関心を高めることができるものと考えられる。掲載されている写真は、場所を特定していないことから調べ学習を始めやすくさせる工夫がされているが、単元、各時間の導入でグラフや表を使って問題設定がされているため、特に第2章「人々の生活と環境」の気候帯分布の地図と雨温図を使った課題設定がグラフなどを導入で使うとことにより理解に時間がかかり、問題意識が高まりにくいのではないかと感じる。

委員

日本文教は、言語活動コーナーが設けられ、言語能力の育成に視点を当てた構成は評価できるが、章末の振り返り、定着の段階ではテーマが限られ、発展学習や探究的な学習との結びつきが薄い点が、学習のおさえがしっかりできるのか心配される。教育出版は、各章のまとめで、キーワードを使って文章表現に絞った問いが設定され、言語能力の育成というねらいが明確に打ち出されている。東京書籍は、各章、各項ごとに技能を身につける内容や発展的な内容が設定されていることから、主体的な学習による多様な能力の育成に適していると考えられる。東京書籍の「深めよう」では、P113で「ツバル諸島の水没」、P93で「多民族社会」等が扱われている。このように多様な学習活動が展開しやすい記述は、本市の学習の視点であるESDと関連させることができる点でい

いのではないか。

福應委員長職務代理

社会科地理については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した東京書籍を採択することに賛成する委員の挙手を求める。
挙手（全員）

福應委員長職務代理

社会科地理については、東京書籍を採択することを宣言

福應委員長職務代理

社会科歴史について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、東京書籍である。このことについて委員の意見を求める。

委員

各社とも年表で歴史の流れや事実の関係性がつかみやすく表され、基礎基本の定着に向けた工夫がされている。教育出版は、表紙裏に「歴史の中の言葉」が羅列されているが、その背景まで迫ろうとすると時間がかかることが予想される。日本文教の「地図で見る世界の動き」は、その時代における世界の様子がよくわかり、世界史、日本史を結びつける面で効果があるが、これらの活用の仕方、調べ学習、探究の仕方の具体例が示されているとよいと考える。東京書籍は、人物を視点に歴史の流れがよくわかり、小学校から中学校への学習がスムーズに行われると感じられる。

委員

東京書籍は、P8 から P9 に世紀、西暦年、時代区分、年号の表現の原則と年表と照らし合わせた見方が具体的に示されていることから、中学校の歴史学習を進めるうえでの留意点が身につけやすくなっている。P5 の「身近なものにも歴史がある」や「私たちの歴史探検隊」の各コーナーについても身近な歴史に視点が行くように工夫されている点でよいのではないか。

委員

帝国書院の各章にある「タイムトラベル」は、具体的な絵が見開きで非常に鮮明に描かれ、イメージを高めやすいと考えられるが、調べ学習や話し合いのテーマとして扱う場合、引用や解説等の資料が多く、逆に扱いにくい印象を受けることから、もう少し精選されたほうがよかったのではないか。清水書院の各頁の構成は、文章が少なく、資料割が大きいことからバランスが悪く、各時間に設定されている学習課題も活動がしぼりにくい印象を受ける。自由社の不鮮明な写真が掲載されていること、学び舎の重要語句の強調や難易語句の説明や注釈がないことは、生徒にとって使い難さが心配される。育鵬社の資料は、絵が小さく、焦点がぼけて見難い印象がある。表紙裏見開きの「日本の美の形」は、仏像から文化をとらえるというねらいで構成されているが、歴史学習の導入としては、難しいと感じる。東京書籍は、全編で資料が豊富にあり、写真が鮮明で、何を見せ、どう学ばせるとよいかの意図が明確になっている。

福應委員長職務代理

社会科歴史については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した東京書籍を採択することに賛成する委員の挙手を求める。
挙手（全員）

福應委員長職務代理
福應委員長職務代理

社会科歴史については、東京書籍を採択することを宣言
社会科公民については協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議
会が選定した教科書は、東京書籍である。このことについて委員
の意見を求める。

委員

東京書籍は、各章、各項ごとに身につけた知識や技能を活かす内
容が設定されている。テーマに基づき、具体的な数値やデータが
示され、追究活動や発展学習が展開できるようになっている。「私
たちの暮らしと経済」の単元の導入では、身近な事例から経営者、
事業主の立場になって考えるという視点が明確に打ち出され、経
済を学びやすい設定がされ、生徒にとっての使いやすい内容とな
っている。

委員

教育出版は、P6～P9の「公民にアプローチ」において、新聞を題
材にした情報処理の仕方と留意点が明らかにされており、社会的
な事象を身につける学習方法が記述されているが、「深く読んで考
えよう」では、文字が多く、視覚的な資料が少ないため読解、内
容を理解することに時間がかかることが予想され、P216の学習資
料編「日本国憲法」も重要語句のアンダーラインがわかりにくい
点が気になる。

どの各教科書もユニバーサルデザイン等、見やすさ、読みやすさ
に配慮されていると感じる。日本文教は、表紙裏からP7までの巻
頭において、テーマに合わせた事実の羅列はできているが、問題
が焦点化されるか心配される。帝国書院のP198から第1章「持続
可能な社会について考えよう」は、8つのテーマに対する内容の
記述が少なく、問題意識を高めることが難しいことが予想される。
東京書籍は、表紙裏の見開きページで持続可能な社会作りに向けた
視点で事例紹介があり、本市で進めている学習の視点であるE
SDと内容的に重なる部分が多く、生徒が興味関心を高め、学習
を深めることが可能であると考え。主体的な学習を展開する上
では、東京書籍が適しているのではないかと。

福應委員長職務代理

社会科公民については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定
した東京書籍を採択することに賛成する委員の挙手を求める。

挙手（全員）

福應委員長職務代理
福應委員長職務代理

社会科公民については、東京書籍を採択することを宣言
地図について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選
定した教科書は、帝国書院である。このことについて委員の意見
を求める。

委員

他分野、教科横断的な取り扱いを考えると帝国書院がよいのでは
ないか。東京書籍は、地図の周辺に余分な図表を配置せず地図を
しっかり見せるというねらいが明確になっていると感じるが資料
構成の部分において地誌的内容や歴史分野、公民分野との関連が
若干薄い点が心配される。

委員	今年度から小学校で使用している社会（地図）の教科書は、昨年度、帝国書院から東京書籍に採択替えしているが、帝国書院は、巻頭の「地図帳の使い方」で、地図の構成要素である点・線・面・文字がわかりやすく記述され見やすく、調べやすくする工夫がされている。また、自然、産業、文化・歴史の各テーマに合わせた調べ学習の視点が明らかであり、多様な使い方が示されている点がよいと思われる。
委員	防災は、持続発展可能な社会づくりの視点においてよいテーマである。帝国書院は、P143 から P144 の「防災マップをつくろう」で防災に関する記述が具体的で、興味関心や問題意識を高めるため複数の防災マップや災害対策の模式図があり、資料構成の工夫もある。東京書籍は、P135 から P136 でハザードマップはあるものの、防災への関心や意識を高める工夫について、物足りなさを感じる。帝国書院は、各地域の地図に「やってみよう」という、地図を使った探究学習の活動テーマがそれぞれ設定されている。地図の中にある課題や地図を使った活動の視点が溢れており、地図帳を使った多様な学習が構想されているなど、学びにはふさわしいと考える。
福應委員長職務代理	地図については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した帝国書院を採択することに賛成する委員の挙手を求める。 挙手（全員）
福應委員長職務代理	地図については、帝国書院を採択することを宣言
福應委員長職務代理	数学について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、啓林館である。このことについて委員の意見を求める。
委員	それぞれの教科書において基礎基本を重視した編集がされていると感じる。啓林館、東京書籍は、基礎基本の定着を図るため、学びの反復、繰り返しの学習の場が意図的に取り入れてある。啓林館は、思考力を重視した「千思万考（せんしばんこう）」という問題解決学習が各章末にあり、読解力や表現力の育成にも役立つものと考えられる。基礎基本だけでなく学習を習熟させるまとめの問題も豊富にあり、内容が充実している啓林館がよいのではないかと。
委員	東京書籍は、基礎的な知識として押さえないといけない語句等が太ゴシックで表されているが、もう少し目立つように工夫が欲しいと感じる。教育出版は、単元の導入紙面が簡単で少なく、生徒の想像力を膨らませ、授業に意欲的に取り組ませるには、紙面量、内容が少ないと感じる。導入で見開きページを使い、主体的な活動が取り入れられている啓林館がよいと感じる。
委員	大日本図書は、横書きページの中に縦書きのページが混在している。学校図書は、色彩豊かなイラストや写真を取り入れているが、

ページのレイアウトに統一感がないような印象を受ける。日本文教は、用語や記号を太字に強調しているが、例題の解法がどこに表記されているのかわかりにくく、その表記も簡単に書かれているため、生徒の思考の助けになっていないと感じる。東京書籍と啓林館が、生徒が見通しをもって主体的に学ぶことができるのではないか。教育出版は、各章の学習に入る前に、これまで学習したことを確認する内容が準備されている。各章の初めに生徒の興味関心を高める問題を提示し、その後の学習に見通しをもって取り組めるよう工夫されているが、単元のまとめでは問題数が少なく、物足りなさを感じる。数研出版は、写真、イラストがバランスよく配置され、紙面はとても見やすいものの、学力定着を確認する問題数が少なく感じる。問題数の点でも啓林館が充実している。

福應委員長職務代理

数学については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した啓林館を採択することに賛成する委員の挙手を求める。

挙手（全員）

福應委員長職務代理

数学については、啓林館を採択することを宣言

福應委員長職務代理

理科について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、大日本図書である。このことについて委員の意見を求める。

委員

多くの教科書は、身近な事物・現象に関連した内容を取り上げている。東京書籍は、発展的な学習のページが関連する内容の後に数カ所に分かれて配置されている。単元の最後にまとめて記載されるよりも、教える側の教師にとっては使い勝手はよいと考えられるが、発展的な内容を紹介した資料等、高度な内容も多く見られ、理科を苦手とする生徒の意欲が低下しないか心配される。基礎基本の定着を重視した構成になっている大日本図書がよいと考える。

委員

大日本図書は、各学年の巻末に「科学のとびらを開こう」のコーナーがあり、生徒の興味・関心に応じたテーマを決めて、課題研究・自由研究に取り組めるよう工夫されている。発展的な活動を記載した「やってみよう」、実験の別法を記載した「もっと」は、探求学習を進める上で有効であると考えられる。「くらしの中の理科」では、日常生活にかかわる科学の話題を紹介し、学習事項と生活とを結びつける工夫がされており、科学の有用性を実感する意味でも大日本図書がよいのではないかと考える。

委員

学校図書は、「思い出してみよう」の表記で、過去に学習した内容が短くまとめられ、生徒にとっては大きな支援となると考えられるが、「単元末問題」において基礎的な重要語句を問う問題と難易度の高い問題が混在していることは、生徒の習熟度に合わせた課題の提示が困難になると思われる。演習問題という点では、基礎

的な問題から総合問題までを別冊の「マイノート」にまとめた啓林館がよいと思うが、啓林館は、「地域・環境資料集」が最後にまとめて掲載されており、授業を進める中で、随時使用する場合、使いづらさを感じる。教育出版は、「ハローサイエンス」のコーナーに、生活、安全、歴史、環境に分類された話題が紹介され、生徒の興味・関心に応じて学習が進むように配慮されているが、他社と比較し動植物を扱う単元の写真が少なく、図が多いように感じられる。生徒の興味・関心を喚起するような写真が多く掲載されている点でも大日本図書がよいと思う。

福應委員長職務代理

理科については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した大日本図書を採択することに賛成する委員の挙手を求める。

挙手（全員）

福應委員長職務代理

理科については、大日本図書を採択することを宣言

福應委員長職務代理

音楽一般と器楽は、授業を行う関係上、同一の教科書を採択することに賛成する委員の挙手を求める。

挙手（全員）

福應委員長職務代理

音楽一般と器楽について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、教育芸術社である。このことについて委員の意見を求める。

委員

教育芸術社は、歌唱、創作、鑑賞の各教材の学習において、教科書の各ページに学習目標を明確に示している。学習目標は、学習指導要領の「内容」及び〔共通事項〕との関連が明確になっている。教材学習を通して、音楽科としての基礎的・基本的な知識と技能を身に付けることができるように構成されている、教育芸術社がよいと思われる。

委員

教育出版は、見開きページの右端に音楽に関する用語や記号が一目で分かるように記されている教材がある。そのページには学習目標等も記されているが、曲名と比べて小さく、分かりにくく感じられ、楽曲との関わりや学ぶべき部分等が記されていないため、どのような学習を進めていくとよいのか分かりにくいと感じる。

委員

教育芸術社の器楽は、P46～49に「打楽器」の写真とその奏法についての説明、簡単な練習のためのリズム譜を掲載している。楽器は様々な種類があるが、打楽器は生徒が小学校から慣れ親しんでいる身近な楽器と言える。教育芸術社は、歌唱や創作の学習にも取り入れやすい打楽器を分かりやすく掲載していることで、3年間の音楽の学習に大いに役立つものと考えている。

福應委員長職務代理

音楽一般と器楽については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教育芸術社を採択することに賛成する委員の挙手を求める。

挙手（全員）

福應委員長職務代理

音楽一般と器楽については、教育芸術社を採択することを宣言

福應委員長職務代理	美術について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、光村図書である。このことについて委員の意見を求める。
委員	開隆堂は、表紙に人物を入れることで、美術を身近なものに感じて欲しいという意図が伝わってくる。光村図書は、迫力ある作品の力で生徒を美術の世界に惹き込む工夫がされている。
委員	光村図書は、技法や用具の使い方、色に関する「学習を支える資料」が充実している。発想が引き出しやすく、技法を試しながら表現の幅を広げることのできる光村図書がよいと思う。日本文教は、P8, P12 から P13 など水彩絵の具のよさを生かした作品が掲載されていてよいと思うが、生徒にとっては、光村図書のように充実した資料を参考にしながら、制作の見通しが立てられることがよいと感じる。
委員	光村図書の俵屋宗達作「風神雷神図屏風」は、本物の金箔に近付ける印刷により、生徒の興味関心を掻き立てている点がよいと思う。開隆堂は、「原寸ギャラリー」に実際の大きさの作品を掲載し、作者の細かい表現に気付ける工夫がされている。P. 24, 25 の「不思議昆虫図鑑」の新鮮な発想と、P. 2 から P4 の作品が自然と融合された迫力ある構成がよいと思うが、生徒の表現を支える資料部分がもう少し多いほうがいいのではないか。日本文教は、両面見開きの浮世絵版面を原寸大で和紙に印刷したページを始め、視覚的に訴える迫力あるレイアウトのページがあり、生徒の学びの意欲を高める工夫がされている。地域の人とアートで交流する作品展示に、本市の「造形おかざきっ子展」が掲載されていることは、身近に感じられるが、教科書が A 4 サイズより大きいことから、カバンや机に入れる扱いやすさの点で気になる。
福應委員長職務代理	美術については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した光村図書を採択することに賛成する委員の挙手を求める。 挙手（全員）
福應委員長職務代理	美術については、光村図書を採択することを宣言
福應委員長職務代理	保健体育について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、大日本図書である。このことについて委員の意見を求める。
委員	どの出版社も「活用」の覧が設けられているが、そのページ数は、大日本図書と学研が多く、東京書籍は少なくなっている。学研は、学んだことを活用すると言うより学んだことを確認するような内容が多いのに対し、大日本図書は、学んだことを生かして活用できるものが、多く含まれている。今の学びに求められている「活用」といった点からも、大日本図書がよいと思われる。
委員	学研に比べ大日本図書と東京書籍は、教科書に直接、考えを書いたり、チェックをしたりすることができる欄が多くあると思われる

る。生徒がノートを使用しなくても、書く活動の中で、考えをまとめることができるように工夫されていると考える。

委員

大修館を含めた全ての教科書において心と体を一体としてとらえ、健康で安全な生活を営む実践力を育てる内容が書かれている。大日本図書は、巻頭に使用されるマークの説明だけでなく、一つの単元における学習の流れが示され、どのように保健の学習が進んでいくのか、見通しをもつことができると思われる。単元の初めのページは、見開きでカットを載せ、そこから自分の生活を振り返ることができるように工夫されている。学習をスムーズに進めるために、年度の初めや単元の初めが工夫されている大日本図書が適していると感じる。

福應委員長職務代理

保健体育については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した大日本図書を採択することに賛成する委員の挙手を求める。
挙手（全員）

福應委員長職務代理

保健体育については、大日本図書を採択することを宣言

福應委員長職務代理

技術・家庭（技術分野）について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、開隆堂である。このことについて委員の意見を求める。

委員

開隆堂は、教科書の構成が基礎・基本の習得につながる「導入課題」と学習を深める「小課題」、問題解決のヒントとなる資料、更には「ふりかえり」と「評価」ができるようになっており、PDCAサイクル型学習に対応している。実践的・体験的な学習活動を通して、自ら問題を見出し課題を設定し、解決を図る力を身に付けることができるように工夫されている開隆堂がよいのではないかと。

委員

東京書籍は、他社が扱う定型のB5版に比べて若干、幅が広く、スペースを有効に活用されているが、字間が狭く、文字が細いため読みづらさがある。重要語句は太ゴシック体になっているが、他の部分との差が少なく、写真とイラスト、本文が重なり、情報量が多すぎて見づらいところがいくつか見受けられる。

委員

教育図書は、文中に、同ページ内に掲載された図表との関連を示す表記があり、内容を図や表と照らし合わせて確認しながら学習できるようになっているが、学習指導要領に示された「技術の進展と環境との関係」や「技術の評価・活用」などを掲載している部分が少ないように感じる。開隆堂は、「技術の評価と活用」について、学んできたことを振り返る場を設定している。開隆堂は、P12, 13の「環境と技術」、P23の資料「人や環境に優しい自動車の工夫」、P. 33「材料と環境とのかかわり」、P. 248, 249「持続可能な社会を築く」等、技術と社会・環境とのかかわりについて随所で取り上げられ、生徒が技術と環境、持続可能な社会について関係性を考える構成となっている。P. 12, 13のガイダンスでも同内容

が扱われている点に特徴があり、よいと思う。

福應委員長職務代理

技術・家庭（技術分野）については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した開隆堂を採択することに賛成する委員の挙手を求める。

挙手（全員）

福應委員長職務代理

技術・家庭（技術分野）については開隆堂を採択することを宣言
技術・家庭（家庭分野）について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、開隆堂である。このことについて委員の意見を求める。

福應委員長職務代理

委員

技術・家庭の技術、家庭分野は、同一の教科書を使用したほうがよいと感じる中で、開隆堂は、ガイダンスに生活、経済、精神の「3つの自立」とともに「共生社会」、「持続可能な社会」、さらに「人と物にかかわる学び」の4点を学びのキーワードとして掲げていることは、学習指導要領の教科目標の考え方に沿うものである。P. 17の「男女参画社会」、P. 18、19の「インクルージョン」、P. 55の「世代を超えた人との交流」は、社会で求められる要素が多く盛り込まれていることから、開隆堂がよいと思う。

委員

東京書籍は、実物大写真が有効に使われ、また発色もよく、鮮やかであり、図やイラストはとても見やすい。選択単元として「生活の課題と実践」が設けられ、生徒の主体性を大切に構成となっているが、教科書が他の教科書やノート等と大きさが異なる定形外サイズのため、カバンや机等に収納する際に扱いづらさを感じる。開隆堂と教育図書は、扱いやすいサイズになっている。

委員

教育図書は、文中に、同ページ内に掲載された図表との関連を示す表記があり、内容を図や表と照らし合わせて確認しながら学習できるようになっているが、ガイダンスは学習内容の概要のみの記述であり、生徒が3年間を通した学びの見通しをもつには十分な内容とは言えない。その点において、開隆堂と東京書籍は3年間の学びの見通しを持った学習内容に仕上げられている。開隆堂は、P. 72 から P74 にあるように、小学校家庭科で学習した「五大栄養素」と中学校で学習する「6つの基礎食品群」を系統的にとらえ、つながりのある学びが展開できるように構成されている。「食生活」、「住生活」また「地域とのつながり」等の内容で、家庭科の学習を災害教育に生かす事例や実践例が具体的に紹介されている点に特徴があり、よいと思う。

福應委員長職務代理

技術・家庭（家庭分野）については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した開隆堂を採択することに賛成する委員の挙手を求める。

挙手（全員）

福應委員長職務代理

技術・家庭（家庭分野）については、開隆堂を採択することを宣言

福應委員長職務代理	英語について協議を行う。西三河教科用図書採択地区協議会が選定した教科書は、東京書籍である。このことについて委員の意見を求める。
委員	開隆堂は、コミュニケーション活動が多く組み込まれ、技能を伸ばすことができる。新文型が対話形式で示されている点については、どのような場面で新文型が使われているかがわかり、より実践的であると感じるが、疑問文・否定文は、基本となる文型との比較がないため、新文型の構造を理解することが難しくなる心配がある。基本文型との比較で、新文型の学習ができる東京書籍がよいと考える。
委員	各教科書においてそれぞれ工夫されていると感じる。東京書籍は、基礎の定着と確認、場面を設定したコミュニケーション活動、テーマに沿った自己表現活動の3つの項目が繰り返し設定され、習得から活用につなげる面で効果的であると考え。各技能を高めるための工夫が各ページに施され、内容面においても、生徒にとって身近な内容から海外での生活に関わる内容まで、幅広く取り上げられている。資料となる写真が多く掲載され、読解のページに異文化を学ぶ情報欄が設けられている東京書籍が総合的によいと考える。
委員	三省堂は、各章の始まりに大きな写真と学習内容が記されたページが配置され、学ぼうとする意識を高められることができると思うが、「文法のまとめ」で演習問題が設定されていないため、生徒が学習内容を習得できたか自分で確認することができない。光村図書は、各章の始まりに写真と各課の目標が示され、学ぶ意識を高められることができるが、p76 から P79 の「ワールドスクウェア」は、授業の中でどう扱うのか明確でないと感じる。学校図書は、基礎基本を学ぶページで学習内容が段階的にわかりやすく書かれている。教育出版は、4技能の活動で、各目標が示されているため、目標を意識して活動に取り組めると思われるが、どちらの教科書も学力の定着を図る演習問題が少ないと感じる。東京書籍は、学力の定着を図る問題が充実している。
福應委員長職務代理	英語については、西三河教科用図書採択地区協議会が選定した東京書籍を採択することに賛成する委員の挙手を求める。 挙手（全員）
福應委員長職務代理	英語については、東京書籍を採択することを宣言
福應委員長職務代理	平成 28 年度に使用する小学校教科用図書について協議する。
福應委員長職務代理	西三河教科用図書採択地区協議の協議結果は、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」第 14 条の規定に基づき、平成 27 年度と同一の教科用図書を使用することとしている。このことについて委員の意見を求める。 (質疑なし)

福應委員長職務代理 平成 28 年度に使用する小学校教科用図書については、平成 27 年度と同一の教科用図書を採択することに賛成する委員の挙手を求める。
挙手（全員）

福應委員長職務代理 平成 28 年度に使用する小学校教科用図書については、平成 27 年度と同一のものを採択することを宣言

福應委員長職務代理 平成 27 年度に使用する小・中学校教科用図書の採択が終了し、原案のとおり可決することを宣言

福應委員長職務代理 秘密会の終了を宣言し、土屋委員の入室を許可する。
（土屋委員入室）

福應委員長職務代理 土屋委員へ第 12 号議案について、原案のとおり可決したことを報告。

■日程第 3 その他

岡崎市スポーツ推進委員の委嘱について

市民スポーツ課長 議案書等により説明

福應委員長職務代理 質疑を許可
（質疑なし）

岡崎市教育委員会会議規則第 14 条第 2 項の規定により、ここに署名する。

平成 27 年 8 月 20 日

教育委員会委員長職務代理者 福應 謙一

教育委員会教育長 高橋 淳

別添（略称表）

略称	発行者
東京書籍	東京書籍株式会社
大日本図書	大日本図書株式会社
教育図書	教育図書株式会社
開隆堂	開隆堂出版株式会社
学校図書	学校図書株式会社
三省堂	株式会社三省堂
教育出版	教育出版株式会社
教育芸術社	株式会社 教育芸術社
清水書院	株式会社清水書院
光村図書	光村図書出版株式会社
帝国書院	株式会社 帝国書院
大修館	株式会社大修館書店
啓林館	株式会社 新興出版社啓林館
数研出版	数研出版株式会社
日本文教	日本文教出版株式会社
学 研	株式会社 学研教育みらい
自由社	株式会社自由社
育鵬社	株式会社育鵬社
学び舎	株式会社学び舎